

令和5年第2回三重県議会定例会
総務地域連携交通常任委員会
提出資料

◎ 所管事項

- (1) 「令和5年版県政レポート（案）」について（関係分）…………… 1頁

令和5年6月26日

出 納 局

(1)「令和5年版県政レポート(案)」について(関係分)

行政運営 4 適正な会計事務の確保

(主担当部局：出納局)

行政運営の目標

会計事務に対する県民の皆さんの信頼性を確保するため、公金の適正な管理を行うとともに、会計事務担当職員が法令・規則に基づいた適正な会計事務を行うことができるよう支援します。また、県民の皆さんの利便性を向上させるため、手数料等の収納方法の多様化を進めます。

目標の実現に向けた総合評価

総合評価	評価の理由
B	検査による文書指導件数が目標を達成するなど、会計相談や各種研修等を通じて会計事務担当職員に対する支援を効果的に行うことができました。県民の皆さんの利便性の向上を図る手数料の収納方法の多様化については、目標をやや下回りましたが、翌年度に向けた準備を進めるなどおおむね順調に取組を進めることができました。

[A 順調 B おおむね順調 C やや遅れている D 遅れている]

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和4年度の主な取組

① 会計事務の支援

- ・会計相談への対応、各種研修の実施および研修動画の配信、メールマガジンによる情報提供などにより、会計事務担当職員を日常的に支援しました。また、会計事務が適正に運用されるよう、事後検査において内部統制制度の趣旨を踏まえた指摘や指導を行いました。
- ・三重県電子調達システム(物件等)の利用申込方法について、令和5年1月から新たに三重県電子申請・届出システムを活用した電子申請もできるようにし、利用者の利便性の向上を図りました。また、システムの安定稼働により、公正・公平、透明性・競争性の高い入札事務を支援しました。

② 公金の適正な管理・執行

- ・資金収支動向を把握し、支払に要する資金を安定的に確保するとともに、歳計現金や基金について、安全かつ効率的な運用を行いながら、運用益の確保に努めました。
- ・県民の皆さんの公金納付方法の利便性を向上させるため、キャッシュレス収納等(コンビニ・スマホ収納)の対象科目の拡大に向けた準備を進めるとともに、証紙で納付している手数料の電子納付化については、担当部局と連携し、令和5年1月から建設業許可等手数料の電子納付化を始めました。

2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況と評価					
KPIの項目					関連する基本事業
令和3年度	4年度		5年度	8年度	4年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	
事後検査による文書指導の件数(一所属あたり)					①
—	0.95 件	105.6%	0.9 件	0.75 件	a
1.0 件 (2年度)	0.90 件		—	—	
手数料等の収納方法の多様化					②
—	2%	85.0%	30%	70%	b
1%	1.7%		—	—	

3. 今後の課題と対応
基本事業名 ・令和5年度以降に残された課題と対応
① 会計事務の支援 ・引き続き、適正な会計事務が行われるよう継続的な支援が必要であることから、会計事務担当職員の能力向上、コンプライアンスの徹底を図る各種研修を実施するとともに、事前確認、事後検査を実施します。 ・引き続き、公正・公平、透明性・競争性の高い入札事務を支援する必要があるため、電子調達システムを安定的に稼働させます。
② 公金の適正な管理・執行 ・引き続き、公金を適正に管理・執行する必要があることから、資金需要を的確に把握し、必要な資金の安定的な確保や安全性・流動性を確保した資金運用に取り組みます。 ・公金を適正に執行できる環境を維持するためには、三重県財務会計システムの安定稼働が必要なことから、現行機器の保守期間満了(令和6年12月)に伴う機器更新業務に取り組みます。 ・公金納付方法の利便性をより一層向上させていく必要があるため、現在、証紙で納付している手数料の電子納付化の拡大に取り組みます。

(参考)施策にかかったコスト (単位:百万円)

	令和4年度	5年度
予算額等	253	299
概算人件費	454	—
(配置人員)	(51人)	—